

KOBE PLASTIC NEXT

みんなてつなげよう。

つめかえパック リサイクル

神戸市内のスーパー、ドラッグストア等で回収中！



**REFILL
PACK
RECYCLE**

全国に先駆けた
プロジェクト推進中!!

「つめかえパック」の「水平リサイクル」を実現するため、神戸市をフィールドに、意匠を同じくする小売・日用品メーカー・リサイクラー等が「競合」の垣根を超えて「協働」するプロジェクトです。

まわり続けるリサイクル

資源回収 ステーション

リサイクルを見える化し、地域と一体でリサイクルを推進！



**RECYCLE
STATION**

全国初のプラスチックに特化した資源回収ステーションを開設。「リユースコーナー」や、コーヒーが飲める「くつろぎスペース」など、地域コミュニティの場としても活用します。

使用済みペットボトルを新しいペットボトルに。

ボトルtoボトル リサイクル



**BOTTLE
TO
BOTTLE
RECYCLE**

家庭から収集した使用済みペットボトルを新しいペットボトルに再生する「ボトルtoボトルリサイクル」をスタート！

Outline 市民、企業と共に一歩先のプラスチック・リサイクルへ取り組む。

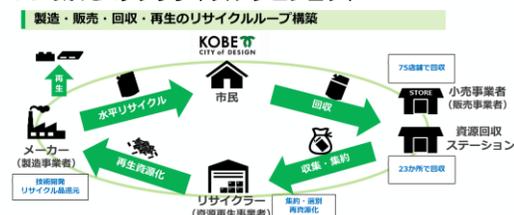
【背景・経緯】

家庭から出るプラスチックごみは全国的に急増しており、コロナ禍の2020年は直近10年で最多となった。プラスチックの回収・リサイクルにおいて自治体と企業などの連携による自主的な取組が一つの柱となる「プラスチック資源循環法」の施行を2022年4月に控え、2021年10月より全国に先駆けて開始。

【実施方針】

神戸市が旗振り役となり、海ごみ問題やリサイクルの難しさなど大きな社会問題になっているプラスチックの現状と課題を伝え、今後の対策を考えていく「KOBE PLASTIC NEXT」。「まわり続けるリサイクル」を掲げ、「つめかえパックリサイクル」、「エコノバ（資源回収ステーション）」、「ボトルtoボトルリサイクル」を展開している。いずれも、全国に先駆けたプロジェクトに挑戦であり、一歩進んだリサイクルを市民を巻き込み、協力を得ながら進めるとともに、企業に対しては、神戸を実証フィールドとして提供することで、意欲的な企業のチャレンジにも貢献する。

●つめかえパックリサイクル プロジェクト



Point① プロジェクトチームで推進する「つめかえパックリサイクル」

市場で拡大するも、新たな廃棄も増加する「つめかえパック」の水平リサイクルを実現するため、神戸市域をフィールドに、大手の小売（4社）、日用品メーカー（10社）、リサイクラー等がプロジェクトメンバーとして参画し、活動（事務局：NPO法人ごみじゃぱん）。同業種の企業が競合の垣根を超え、複合素材の多層構造という水平リサイクルが難しいとされる技術的な課題にも協働して取り組んでいる。

市内75店舗（2025.2時点）において専用ボックスを置き、店頭では店舗毎にデザインされた啓発ポスターにより啓発。市民は分別や洗浄等で協力する。収集の効率化と環境負荷低減を図るため、店舗への配達戻り便等を活用するなどの工夫も凝らしている。年々回収量は増加し、3年間累計で約5トンを回収。全国他地域への水平展開を期待する。

Point② 資源循環だけでなく、地域コミュニティの拠点として、ウェルビーイングにも貢献する「エコノバ」

全国初のプラスチックに特化したエコノバ（資源回収ステーション）を開設（2021年）。「リユースコーナー」やコーヒーが飲める「くつろぎスペース」など、地域コミュニティの場として活用されている。小学校区毎の地域福祉センター、自治会館、空き家等も活用しながら、市民が歩いていける200か所以上への設置を目標に、現在（2025.2時点）で41か所に設置。

管理運営は各施設が担い、拠点毎に回収する資源の品目も異なり、回収品目別に連携企業・団体を設定しているのも特徴。水平リサイクルや再資源化といった企業側の回収ニーズにも応える。また、内閣府のSIP（戦略イノベーション創造プログラム）の取組として、使用済みプラスチックから自動車部品へのリサイクルを目指し、PP（ポリプロピレン）資源の回収を始めている。

ごみを持ち込むことをきっかけとして、地域の交流が生まれる拠点となることも目指しており、地域協働部局と連携しながら取組を進め、市民のウェルビーイングへの寄与も大きく期待されている。



●つめかえパックリサイクル



●PP回収ボックス（エコノバあづま（中央区））

